

年長組で「お別れ遠足」を実施！「アクアワールド茨城県大洗水族館」へ(No. 2)



新型コロナウイルスへの対応などで遅くなりましたが、年長さんの「お別れ遠足」の様子をお伝えします。

11時になり、待ちに待った「お弁当」の時間。1階にある「多目的スペース」に場所を確保(朱夏先生とまどか先生が命懸けで場所を確保してくれました)し、グループごとに食べました。朝から気になっていた、愛情がたっぷり詰まった「お弁当」。久しぶりに園外で食べるお弁当の



味は格別なのでしょうか、本当においしそうに食べていました。

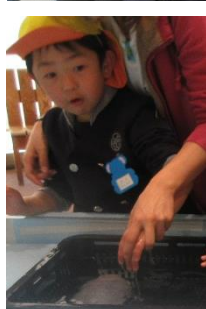
弁当を食べた後は、「深海ゾーン」や「サメの海」があるエリアへ移動しました。このエリアで、一番の人気だったのが「マンボウが泳ぐ姿」です。巨体と独特の体型、とぼけた顔つきでユーモラスに泳ぐ姿に、子ども達も目を輝かせて見ていました。次に、驚いた様子だったのが「サメが泳ぐ姿」です。たくさんの種類のサメがいましたが、巨大なサメが勇猛に泳ぐ姿が見られる「シャークウォッチング」ゾーンは、迫力満点でした。



次に、「ラッコやゴマアザラシ、エトピリカ」などがあるゾーンを見学しました。先生からの課題「エトピリカ」を発見して、「鳥なんだ」と納得する子も。可愛い魚や海の生き物をたくさん見ることができ、実に楽しそうです。



次に、5階の「キッズランド」「タッチングプール」のあるエリアに行きました。ここでは、組ごとに分かれ、水族館の中とは思えないような、ロープをマス目状に組んだ巨大な魚の形をした大規模の遊具で遊んだり、「タッチングプール」で「ヒトデや小型のサメ、ナマコ」などの生き物を実際に触ったりしました。珍しい生き物を直に触ることに慣れてい



ないため、恐る恐る触れる子ども達。貴重な経験だと感じました。

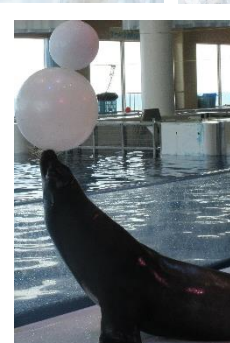
最後に訪れたのは、イルカやアシカのショーで人気の「オーシャンシアター」。ショーが始まる前に、元気な女性スタッフが子ども達の心を和ませます。そのスタッフの元気な掛け声とともに演技が始まりました。イルカの



ダイナミックなジャンプ。もし最前列に席を取っていたら、「水しぶき」をバッチリと浴びていたことでしょう(予想していたので、4~5列目に席を確保しました)。子ども達も「キャー！少し濡れた」とか「すごく高くジャンプした！」などと、



感嘆の声をあげていました。アシカの演技はコミカルで、子ども達も大笑いの連続でした。そんな中でも、子ども達が一番喜んだのは「イルカとアシカの共演」です。違う生き物なのに、まるで兄弟のような仲の良さ。最後の「イルカとアシカのチュー」には、子ども達もビックリ！大受けでした。



ショーを見た後は、入口側にある「イルカの像(愛と平和の象徴)」をバックに、クラスごとに記念写真を撮りました。ポーズも上手に取ることが出来ました。その後、バスに乗り帰ってきました。

子どもたちが良かったと感じたところを紹介します。
 (さくら) 1:イルカ・アシカのショー 2:アンコウのあんちゃん(看板) 3:ペンギン、チアナゴ
 (ゆり) 1:イルカ・アシカのショー 2:カワウソ 3:サメ 4:キッズランド 5:魚をさわるコーナー
 【写真】……(一番上、2段目)愛情たっぷりの弁当。美味しそうです。(4段目~6段目)恐る恐る「サメやナマコ」に触れる子ども達。超人気でした！(7段目)サメの口の中で記念写真を撮る！(7段目右~)「イルカやアシカのショー」を見学。感動が分かる表情です！